

庭園のそば屋

「うどん」と「そば」ではどちらが好きかと聞かれれば即座にうどんと答える。神戸で育った私にとって西日本なかんづく四国の讃岐うどんや、関西・大阪の庶民の食べものとして身近にあったからだ。

登別温泉の朝食はバイキングであった。美味しそうな料理があるとつい量が増えてしまう。満腹感で少々苦しい。そんな時の昼食は軽くうどんとかそばで済ませたい。JR 登別駅に向かう途中に適当な店を見つけた。看板には「そば処森々亭」とあった。余裕ある駐車場。こじんまりした佇まいの店内に入れば、そこは落ち着いた雰囲気で大きめに窓からは広い庭が見えた。そばを注文して少々時間があるようなので庭を散策した。そば屋でこれほどまでの大きな庭をそれも見事に手入れされた庭園を持っている店は初めてだ。中央にこじんまりした池が配置され鯉が優雅に泳いでいた。赤、白、ピンクそれぞれ満開のツツジ。更には色鮮やかな紫菖蒲。もみじ…。そしてこの時期は目に眩しい新緑が生き生きと輝いていた。

もりそば 550 円からウニとじそば 1100 円まで手ごろな値段だ。味もよく旅先で美味しいものに巡り合えるのは幸せなことだ。全国にはそば何処として有名な場所（信州そば、出雲そば…）があるが、そばの収穫量は北海道がダントツで全国一位。二位に長野、茨城、山形と続く。北海道こそ「そば処」としてもっとアピールしてもよさそうなものだ。



撮影 2015 年春

